

三条市子ども・若者総合サポートシステム
平成 28 年度活動実績・平成 29 年度活動計画
【若 者 支 援 部 会】

《平成 28 年度活動実績》

1 若者支援部会 対象者の把握状況と対応

(1) 把握件数（平成 29 年 3 月末現在）

区分	ひきこもり（若者）			
人数（人）	11			
他の区分と重複している件数	虐待 —	非行 —	不登校 —	障がい 4

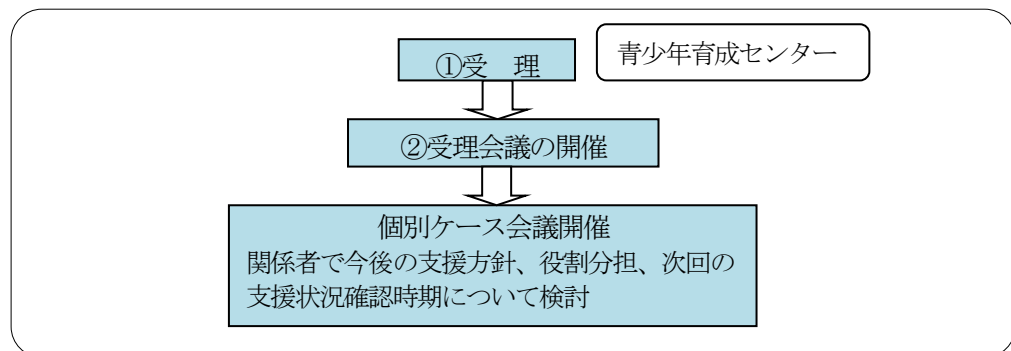
＜年齢別の把握人数＞

年齢	人数（人）
15 歳～19 歳	6
20 歳～24 歳	4
25 歳～29 歳	1

(2) 「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

区分	ひきこもり（若者）
人数（人）	11

(3) 受理後の対応



2 若者支援部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加人数
障がい支援・若者支援部会合同専門研修会	第1回	12月19日	市役所栄庁舎	講 義:「三条市の障がい福祉施策の概要について」 説明者: 三条市福祉保健部福祉課 事業所見学: (1) 株式会社アイエスエフネットライフ (2) 障がい者居住支援拠点施設長久の家 対象者: 小中学校教職員、市内高等学校、保育園(所)・幼稚園職員、支援機関職員	25人
実務者会議	第1回	3月24日	青少年育成センター	若者支援部会実務者等研修会 「不登校・ひきこもりについてⅡ」	31人

3 周知活動

市内中学校3年生の保護者に対し、総合サポートシステムについて周知

4 研修会・講演会

子ども・若者支援に関わる青少年相談業務関係者等の資質向上を図るため研修会に参加した。

回	月 日	場 所	内 容	参加人数
1	7月13日	三条ものづくり学校	三条市若年者職業支援ネットワーク会議参加	1人
2	2月24日	市役所第二庁舎	三条市若年者職業支援ネットワーク会議参加	1人

5 成果、課題等

成果	課題等
障がい支援・若者支援部会合同専門研修会において、若者の就労支援や相談を実施している事業所の実情を知ることができた。 実務者会議の研修会において、不登校・ひきこもりについての講師の具体的な事例や活発な意見交換により、有意義な研修となった。 同じ三条ものづくり学校にある若者サポートステーションと連携し、相談体制を強化している。	仕事の確保や創出、広報活動の強化を図る必要がある。 義務教育以後での中退やひきこもりを防ぐためにも、引き続き、本システムについて、親、子ども、関係者や高校等への周知を一層図る必要がある。 若者サポートステーションや関係機関・他部会と連携し、相談者の発掘力・問題の解決力を強化する必要がある。

《平成 29 年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第 1 回	11 月下旬	青少年育成センター	青少年相談業務関係者等研修会 ・不登校・ひきこもり
	第 2 回	2 月中旬	青少年育成センター	意見交換会 ・不登校と引きこもりの現状及び対処法について など
個別ケース検討会議	随時			・ケースの情報共有・進行管理 ・既存登録者の現状把握、今後の支援方針・役割分担等の明確化 ・他部会との連携・情報共有

2 周知活動

- ・市内中学校 3 年生の保護者に対し、総合サポートシステムについて周知
- ・市内及び近接地の高等学校等の生徒及び保護者に対し、総合サポートシステムについて周知